

2016年4月

Klark Yoshid の校長室だより～2016年(4)～



校長 吉田幸一

静岡英和女学院のホームページ“校長室だより”によろこそ！

今回は、2016年度がスタートしたばかりですので、学校経営ビジョンと教育目標について説明させていただきます

学校経営ビジョン

キリスト教主義を基底とした建学の精神に拠り、学院聖句にある「隣人を自分ように愛しなさい」の聖書の教えに誠実に向き合い、「愛と奉仕」の実践と一人ひとりの生徒の個性と可能性を育てることを教育方針とする。

教育目標と重点項目

建学の精神に基づいて次に示す女性を育成することを教育目標とする。

- (ア) キリスト教の倫理観に基づいた「愛と奉仕」を実践する女性
- (イ) 教養を身につけ、人と社会に奉仕できる女性
- (ウ) グローバル社会にあって国際的に活躍できる女性
- (エ) 英和生として期待される役割となる「尊き責務」(noblesse oblige)を実践できる女性
- (オ) 高い教養と知識を生かし、社会における自らの役割を通して自己実現できる女性

教育理念に基づく特徴ある教育活動計画

(ア) 充実した6年制一貫教育

生徒一人ひとりの発達段階における興味、関心、理解度や生活環境にあわせたテーラーメイド教育と一人ひとりの生徒の活動記録(データ)を教育支援に生かした教育を行う。2020年の大学入試制度の変更に伴うカリキュラムの改編、思考力・判断力・想像力と発表力を育成するために、生徒主体となる授業改善とICT教育の促進、希望進路実現のためのコース制の拡充と英和学の開講、国際理解教育推進のための留学制度の拡充、安全で安心して学べる学

習環境の充実による教育力向上を促進する。

(イ) 伸び伸びホップ期

多くの生徒が1時間以上をかけて通学するため、早い時期から規則正しい生活習慣を身につけることを励行し、基礎学力の定着と学習と部活動の両立を目指す。中学校2年生からは、タブレット端末によるICT教育を行い、アドバンスとスタンダードの2コースに分かれ、英語と数学に関しては習熟度授業を行う。また、充実した留学制度による国際理解教育も実践する。

(ウ) 生き生きステップ期

思考、判断、想像力を養い、応用力を育成し、新たな大学入学制度に適応した学習力とタブレット端末を活用したICT教育を推進する。生徒自らが考え、発表する生徒主体の授業と自らの考えを発表するプレゼンテーション能力の向上を目指す。また、高等学校1年生より、アドバンスコース（医歯薬系、特進系）、グローバルコース（国際系）とスタンダードコース（総合系、看護系）に分かれた授業を行い、メディカル・サイエンス、第二外国語、日本の伝統文化、英和女性学等各コースに合わせたプログラムを学ぶ。

(エ) 自信満々ジャンプ期

文章力と発表力を充実させ、論述問題や難解な問題にも対応できる学習力の鍛錬を行い、個別補習や個別指導等による第一希望の進路実現を行う。さらに、国際的な視野をもち、多様性を理解し、自らの人生を切り拓く自己実現力を養う。

a アドバンス、スタンダードコースについて

中学校入学時より、学習の習得状況により2つのコース別のクラス編成となる。高校1より、アドバンスコースは医歯薬系、特進系に分かれ、医学部、歯学部、薬学部や国立大学と私立難関大学に進学する生徒に対応したカリキュラムとなり、スタンダードコースは、グローバル（国際系）とスタンダード（総合系、看護系）の希望進路に即応したカリキュラムとなる。

b 英和学

各コースに付随した3つのプログラムから編成されている。

・メディカルプログラム

アドバンスコースの医歯薬系を対象とし、医師・薬剤師・看護師による講演、病院への実習参加、大学訪問、メディカルサイエンス（実験・特別補講）や受験問題対策を行う。

・グローバルプログラム

キャリアプログラム（大学を知ろう）、アジア・ヨーロッパ言語（英語以外）と異文化理解、女性キャリア（企業とのコラボレーション・マーケティング・地域開発）や英和女性学（卒業10年後の自分像のイメージ）を学ぶ。

・スタンダードプログラム

キャリアプログラム（大学を知ろう）、伝統文化体験（華道・茶道・邦楽）と女性キャリア（企業とのコラボレーション・マーケティング・地域開発）や英和女性学（卒業10年後の自分像のイメージ）を学ぶ。

(オ) 生徒の活動記録（データ）を教育支援に生かした教育

生徒の理解力を客観的に把握し、適切な指導を行うために次の外部テストを中学から高校において継続的に行い、その結果を追跡、評価する。

- a 中学においては、中学の基礎、基本を確認するため4月領域別復習テスト、全国学習状況調査、11月学力推移調査を実施、追跡資料を作成し、これに基づいて学力強化を図る。
- b 高校においては、高校1年、2年には個別の進路指導に、高校3年では、それぞれの進路別に実施する。

(カ) 国際理解教育

- a メイプル・プログラム（カナダ5ヶ月・オセアニア3ヶ月 語学留学）

静岡英和女学院の歴史は、英語教育の歴史でもあり、本プログラムでは、カナダの姉妹校への留学などを通じて、異文化を体験して、英語コミュニケーションの必要性を感じ取ることから、英語への好奇心をより一層喚起し、語学力だけでなく国際的に活躍できる広範な能力を育成する。多くの生徒に早い時期から海外経験を積ませ、地域、民族、文化に関わることなく、隣人を愛することを学ばせる。本年度はビクトリア（セント・マーガレット・スクール）に、4月3日（日）出発、8月20日（土）帰国の日程で実施する。また、2015年度からは、ニュージーランド3ヶ月語学留学を実施し、更なる国際理解教育を推進している。

- b カナダ・スタディツアー（研修旅行）

高校2年（メイプル・プログラム参加者を除く）を対象に、カナダの姉妹校訪問、ホームステイを中心とした語学体験ツアーを実施し、本年度は5月6日（金）から12日（木）の日程で実施する。

- c セント・マーガレット・スクールとの交換留学

姉妹校のセント・マーガレット・スクールから日本への留学生のホームステイ先となる中学3年生と高校1年生を優先して、3月に10日間程度の交換生として派遣する。

- d JGF（英和海外留学生派遣制度）

毎年、優れた生徒1名を学校の費用で1年間姉妹校（カナダ・エルムウッド・スクール）に派遣する。今年度は応募があったが校内審査の結果見送ることとした。

- e カナダ姉妹校交流

「バルモラル・ホール・スクール」「セント・マーガレット・スクール」「ビショップ・ストローン・スクール」にそれぞれ休学留学、認定留学希望の生徒を留学生として派遣する。

- f その他の一般留学も希望者があれば休学留学あるいは認定留学として許可する。

(キ) EIWA 生に期待すること

E: Elegance（洗練・優雅）

I: Intelligence（知性）

W: Wisdom（良識・聡明）

A: Ability（才能・能力）

これらを身に付けることで、本校では「世界に貢献する女性」をめざしていきます。

ユニーク教育

静岡英和女学院中学・高等学校

2015年度で創立・設・改修など、見直して28年を迎えた静岡英和女学院中学・高等学校(吉田幸一校長、静岡県)

「魅力・特色が県民に伝わり、教育の1つとして、2015年4月から、初の民間(二)出身の校長として吉田幸一氏(神奈川県横浜出身)が就任した。

「キリスト教の倫理観に基づき教育を通して、国際人としてのコミュニケーション能力を育成し、授業改善に積極的に取り組んでいます。また、法人本部と協議の上、職員の待遇改善、施設の新

「キリスト教の倫理観に基づき教育を通して、国際人としてのコミュニケーション能力を育成し、授業改善に積極的に取り組んでいます。また、法人本部と協議の上、職員の待遇改善、施設の新

名門校の復活にかける

市民目線と現場重視で改革を推進

「英和が変わる(一)ハッジを胸につけ、朝会で順番に自己メッセージを宣言する。同校は確実に変わりは始めている。

「知性・Wisdom(知識・聡明)・Ability(才能・能力)を備えた女性。生徒の学びの保証で注目を浴びるのは、2016年度から始める「英和」と「女性学」の授業が地域貢献学では、住みやすい環境を築いていく。CT教育の推進、教員に「受験に對しても、ど



カニングハム初代校長(前列中央)と生徒・教員



吉田校長と生徒会役員との昼食会

「2015年度から変わる英和をアピールし続けてきました。これから市民目線と現場重視で学校改革をしていかなければならないと思っています。2017年度以降に向けた新たな施策を考えています」と吉田校長。